

最新医療経営 PHASE3でインタビュー記事が掲載されました。

医療法人社団 健育会 理事長 竹川 節男



最新医療経営 PHASE3で、“病院トップの経営者魂”として私の取材インタビューが掲載されました。

最新医療経営 PHASE3、“病院トップの経営者魂”コーナーの取材を受けました。

そのインタビュー内容が同紙1月号に掲載されています。

今回の取材では、「病院経営」の目線で、健育会グループの紹介はもちろん、現在の医学界に必要と思われる私の思いを語らせていただきました。



メディカルディレクター、マネジメントディレクターの2トップ制による、数値化された事業計画、それを法人本部が支援するという、健育会グループ独自の運営方針の紹介から始まり、

この理事長トークの役割、そして、健育会グループ内のみなさんに込めた想いを語らせていただきました。

病院経営の本質、そして、我がグループの使命を、この記事を通じて全員が共有してもらいたい内容となっています。

「東日本を中心に9つの病院と2つの診療所をはじめ、介護老人保健施設、有料老人ホームなどを運営しています。職員3300人による健育会グループの経営のやり取りの考え方を聞かせてください。」

「病院の雰囲気が変わる様子を見ていました。増数の病院で運営するのなら、トップが不在であっても運営ができる仕組みをつくらなければならぬと考えたのです。」

「それは、院長職であるメイカル・ディレクターとマネージング・ディレクターの2トップ制です。それぞれが診療の質、経営の質の向上に専念する体制は、理事長就任時に確立していました。現在でも各病院の経営はマネージング・ディレクターが一手に担い、数値

人生に夢が持てる、やりがいがある環境づくり。3つめは、医療・介護に携わる者としての使命感を育てることです。」

「使命感は、入職前にはなくてもいいと考えています。法人として育てる場を提供するからです。多くの熱意を込めてくれる人が、上司や患者さんに褒められる機会をつくります。その一環として、病院経営や向上に貢献した個人を表彰する「運営長賞、チーム医療」により各病院の同僚を称賛した例をたたえる「ミラクル賞」などの表彰制度があります。成功体験を皆で共有することで、価値（パブリシティ）につながります。」

「法人の最大公約数のビジョンは、『グライアントの心を動かす』ですが、ビジョンの達成は病院の医療質や環境などによって異なります。そのため、病院ごとに理念・ビジョンを考え、掲げていくことが必要です。職員全員がこの病院はいつかこのようになるという目標を掲げ、結果よく取り組めます。ビジョンを共有するためのビデオを作成する理念プロジェクトなども実施しています。」

「高年齢化が進むなかで法人全体としてどんな医療を提供していくのが役割だと思いますか。」

「高年齢化が進むなかで法人全体としてどんな医療を提供していくのが役割だと思いますか。」

「高年齢化が進むなかで法人全体としてどんな医療を提供していくのが役割だと思いますか。」

「高年齢化が進むなかで法人全体としてどんな医療を提供していくのが役割だと思いますか。」

「高年齢化が進むなかで法人全体としてどんな医療を提供していくのが役割だと思いますか。」

「高年齢化が進むなかで法人全体としてどんな医療を提供していくのが役割だと思いますか。」

「高年齢化が進むなかで法人全体としてどんな医療を提供していくのが役割だと思いますか。」

「高年齢化が進むなかで法人全体としてどんな医療を提供していくのが役割だと思いますか。」

「高年齢化が進むなかで法人全体としてどんな医療を提供していくのが役割だと思いますか。」

「高年齢化が進むなかで法人全体としてどんな医療を提供していくのが役割だと思いますか。」

「高年齢化が進むなかで法人全体としてどんな医療を提供していくのが役割だと思いますか。」

「高年齢化が進むなかで法人全体としてどんな医療を提供していくのが役割だと思いますか。」

「高年齢化が進むなかで法人全体としてどんな医療を提供していくのが役割だと思いますか。」

「高年齢化が進むなかで法人全体としてどんな医療を提供していくのが役割だと思いますか。」

「高年齢化が進むなかで法人全体としてどんな医療を提供していくのが役割だと思いますか。」

「高年齢化が進むなかで法人全体としてどんな医療を提供していくのが役割だと思いますか。」

「高年齢化が進むなかで法人全体としてどんな医療を提供していくのが役割だと思いますか。」

「高年齢化が進むなかで法人全体としてどんな医療を提供していくのが役割だと思いますか。」

「高年齢化が進むなかで法人全体としてどんな医療を提供していくのが役割だと思いますか。」

「高年齢化が進むなかで法人全体としてどんな医療を提供していくのが役割だと思いますか。」

「高年齢化が進むなかで法人全体としてどんな医療を提供していくのが役割だと思いますか。」

「高年齢化が進むなかで法人全体としてどんな医療を提供していくのが役割だと思いますか。」

「高年齢化が進むなかで法人全体としてどんな医療を提供していくのが役割だと思いますか。」

「高年齢化が進むなかで法人全体としてどんな医療を提供していくのが役割だと思いますか。」

「高年齢化が進むなかで法人全体としてどんな医療を提供していくのが役割だと思いますか。」

「高年齢化が進むなかで法人全体としてどんな医療を提供していくのが役割だと思いますか。」

「高年齢化が進むなかで法人全体としてどんな医療を提供していくのが役割だと思いますか。」

「高年齢化が進むなかで法人全体としてどんな医療を提供していくのが役割だと思いますか。」

「高年齢化が進むなかで法人全体としてどんな医療を提供していくのが役割だと思いますか。」

「高年齢化が進むなかで法人全体としてどんな医療を提供していくのが役割だと思いますか。」

「高年齢化が進むなかで法人全体としてどんな医療を提供していくのが役割だと思いますか。」

「高年齢化が進むなかで法人全体としてどんな医療を提供していくのが役割だと思いますか。」

「高年齢化が進むなかで法人全体としてどんな医療を提供していくのが役割だと思いますか。」

「高年齢化が進むなかで法人全体としてどんな医療を提供していくのが役割だと思いますか。」

「高年齢化が進むなかで法人全体としてどんな医療を提供していくのが役割だと思いますか。」

「高年齢化が進むなかで法人全体としてどんな医療を提供していくのが役割だと思いますか。」

「高年齢化が進むなかで法人全体としてどんな医療を提供していくのが役割だと思いますか。」

「高年齢化が進むなかで法人全体としてどんな医療を提供していくのが役割だと思いますか。」

「高年齢化が進むなかで法人全体としてどんな医療を提供していくのが役割だと思いますか。」

「高年齢化が進むなかで法人全体としてどんな医療を提供していくのが役割だと思いますか。」

「高年齢化が進むなかで法人全体としてどんな医療を提供していくのが役割だと思いますか。」

「高年齢化が進むなかで法人全体としてどんな医療を提供していくのが役割だと思いますか。」

「高年齢化が進むなかで法人全体としてどんな医療を提供していくのが役割だと思いますか。」

「高年齢化が進むなかで法人全体としてどんな医療を提供していくのが役割だと思いますか。」

「高年齢化が進むなかで法人全体としてどんな医療を提供していくのが役割だと思いますか。」

「高年齢化が進むなかで法人全体としてどんな医療を提供していくのが役割だと思いますか。」

「高年齢化が進むなかで法人全体としてどんな医療を提供していくのが役割だと思いますか。」

「高年齢化が進むなかで法人全体としてどんな医療を提供していくのが役割だと思いますか。」

「高年齢化が進むなかで法人全体としてどんな医療を提供していくのが役割だと思いますか。」

「高年齢化が進むなかで法人全体としてどんな医療を提供していくのが役割だと思いますか。」

「高年齢化が進むなかで法人全体としてどんな医療を提供していくのが役割だと思いますか。」

「高年齢化が進むなかで法人全体としてどんな医療を提供していくのが役割だと思いますか。」

「高年齢化が進むなかで法人全体としてどんな医療を提供していくのが役割だと思いますか。」

「高年齢化が進むなかで法人全体としてどんな医療を提供していくのが役割だと思いますか。」

「高年齢化が進むなかで法人全体としてどんな医療を提供していくのが役割だと思いますか。」

「高年齢化が進むなかで法人全体としてどんな医療を提供していくのが役割だと思いますか。」

「高年齢化が進むなかで法人全体としてどんな医療を提供していくのが役割だと思いますか。」

「高年齢化が進むなかで法人全体としてどんな医療を提供していくのが役割だと思いますか。」

「高年齢化が進むなかで法人全体としてどんな医療を提供していくのが役割だと思いますか。」



PROFILE
たけかわ せつお 1961年、岡山医科大学卒業。慶應義塾大学病院内科研修医。50年、同大学医学部に医学博士号取得。同年、医療法人社団健育会副理事長就任。96年、理事長就任。慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特任教授、岡山医科大学医学部特任教授を兼任。

●医療法人社団健育会 石川島記念病院
地域ニーズに対応
中央区初の回復期リハビリ棟を開設



10月に開業した回復期リハビリ棟（中央区）を、12月3日に健育会が承継。14年4月、石川島記念病院と名称を変更。回復期リハビリ棟を併設する複合施設として新たに開設したが、機能の充実を図るため、今年1月に新築を完了した。9月、中央区初の回復期リハビリセンター（リハセンター）併設を中心とした事業計画で開業を完了した。47頁。https://shikaweb.jp/

「健育会としての使命を職員が常に意識することが重要」

このような記事が掲載されることは、グループ内部はもちろん、他の病院、施設に対しても、健育会グループの意思と使命が広く知られることに意義があるのではないかと思います。

そして、我々の取り組みに対する多くの理解が増えることで医療経営全体の底上げになればと切に願います。

今年も残りわずかとなりましたが、来年に向けて舵取りを行う上で、非常に貴重なニュースとして、ここで紹介いたします。